

7 有機農業について

(1) 有機農業の農産物に対するイメージ

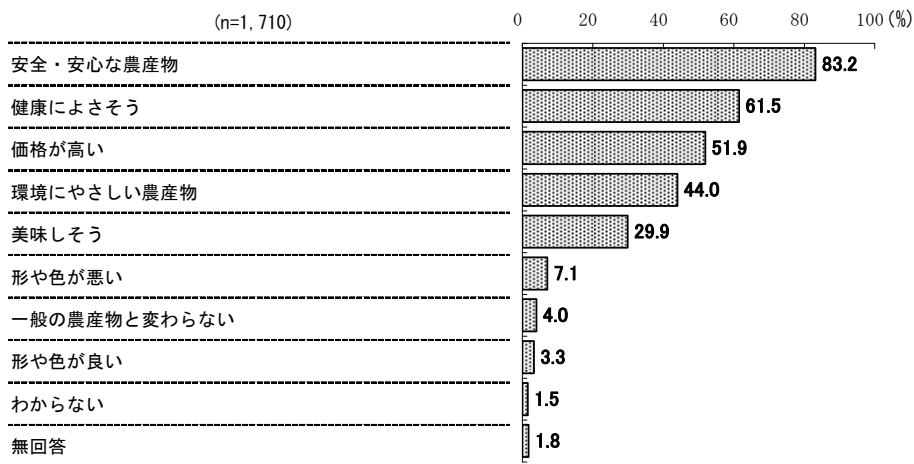
◇「安心・安全な農産物」が8割台半ば。

平成18年12月に「有機農業の推進に関する法律」が制定され、本県では千葉県有機農業推進計画（仮称）を策定し、有機農業を推進することとしています。

有機農業とは、化学的に合成された肥料と農薬を使用しないこと、遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、環境への負荷をできる限り低減した生産方法で行われる農業のことをいいます。

問26 あなたは、有機農業により生産される農産物に対してどのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

＜図表7-1＞有機農業の農産物に対するイメージ



有機農業の農産物に対するイメージを聞いたところ、「安心・安全な農産物」（83.2%）が8割台半ばとなっており最も高い。ついで、「健康によさそう」（61.5%）が6割を超え、「価格が高い」（51.9%）が5割を超える結果になっている。（図表7-1）

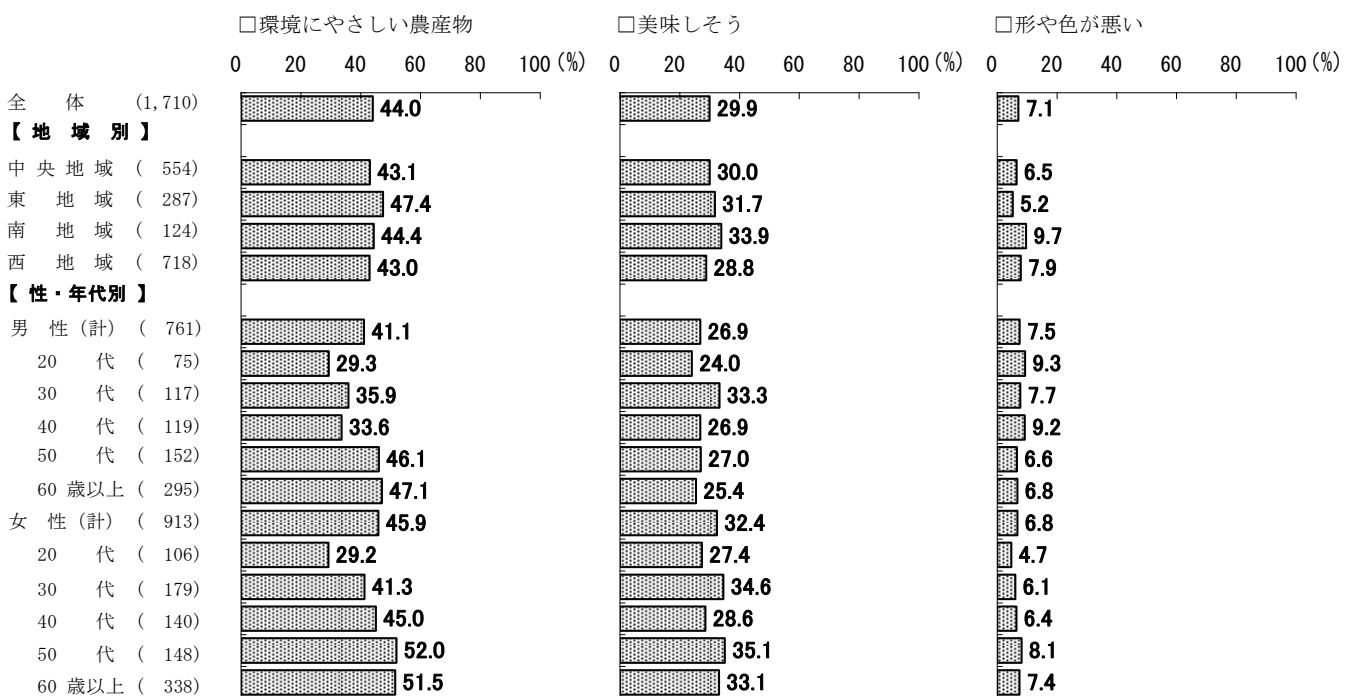
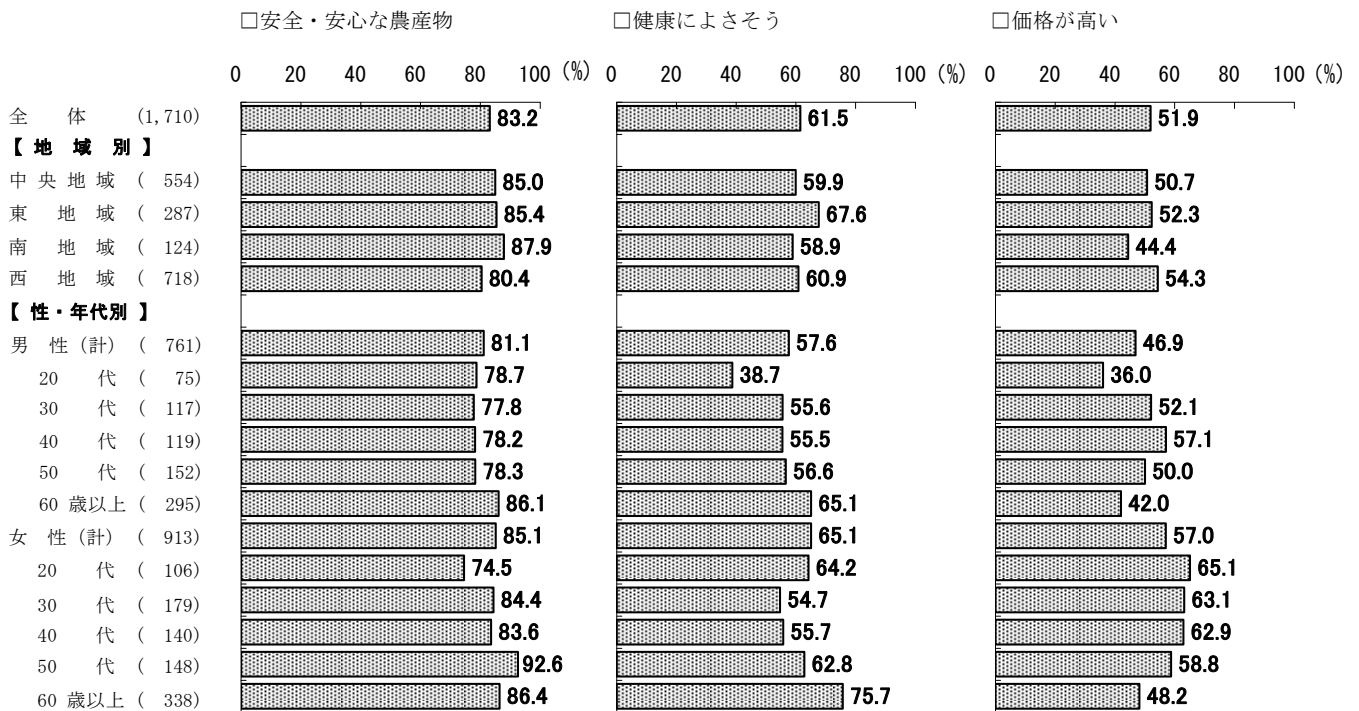
【地域別】

「安心・安全な農作物」は、「南地域」（87.9%）で約9割となっており最も高く、「西地域」（80.4%）で最も低い。「健康に良さそう」に関しては、「東地域（67.6%）」が約7割となっており、他の地域に比べて高くなっている。「価格が高い」は、「西地域」（54.3%）が5割台半ばである。（図表7-2）

【性・年代別】

「安心・安全な農作物」は、男性の60歳以上（86.1%）で8割台半ば、女性の50代（92.6%）で9割を超えている。「健康に良さそう」は、男性の60歳以上で6割台半ば、女性の60歳以上（75.7%）で7割台半ばとなっており他の年代に比べて高くなっている。「価格が高い」は、女性の20代（65.1%）で6割台半ばとなっており、他の年代に比べて高くなっている。（図表7-2）

＜図表 7-2＞有機農業の農産物に対するイメージ／地域別、性・年代別（上位6項目）

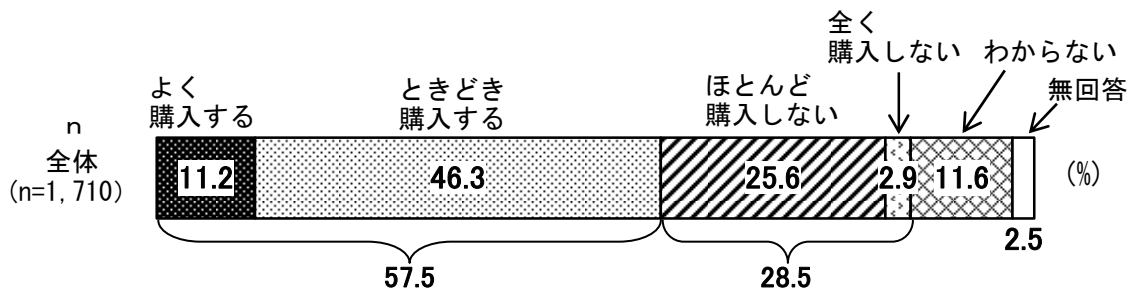


(2) 有機農業の農産物購入頻度

◇『購入する』が約6割。

問27 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業により生産される農産物を購入していますか。(○は1つ)

<図表7-3>有機農業の農産物購入頻度



有機農業の農産物の購入頻度を聞いたところ、「よく購入する」(11.2%)と「ときどき購入する」(46.3%)を合わせた『購入する』(57.5%)は約6割である。一方、「ほとんど購入しない」(25.6%)、「全く購入しない」(2.9%)を合わせた『購入しない』(28.5%)は約3割である。(表7-3)

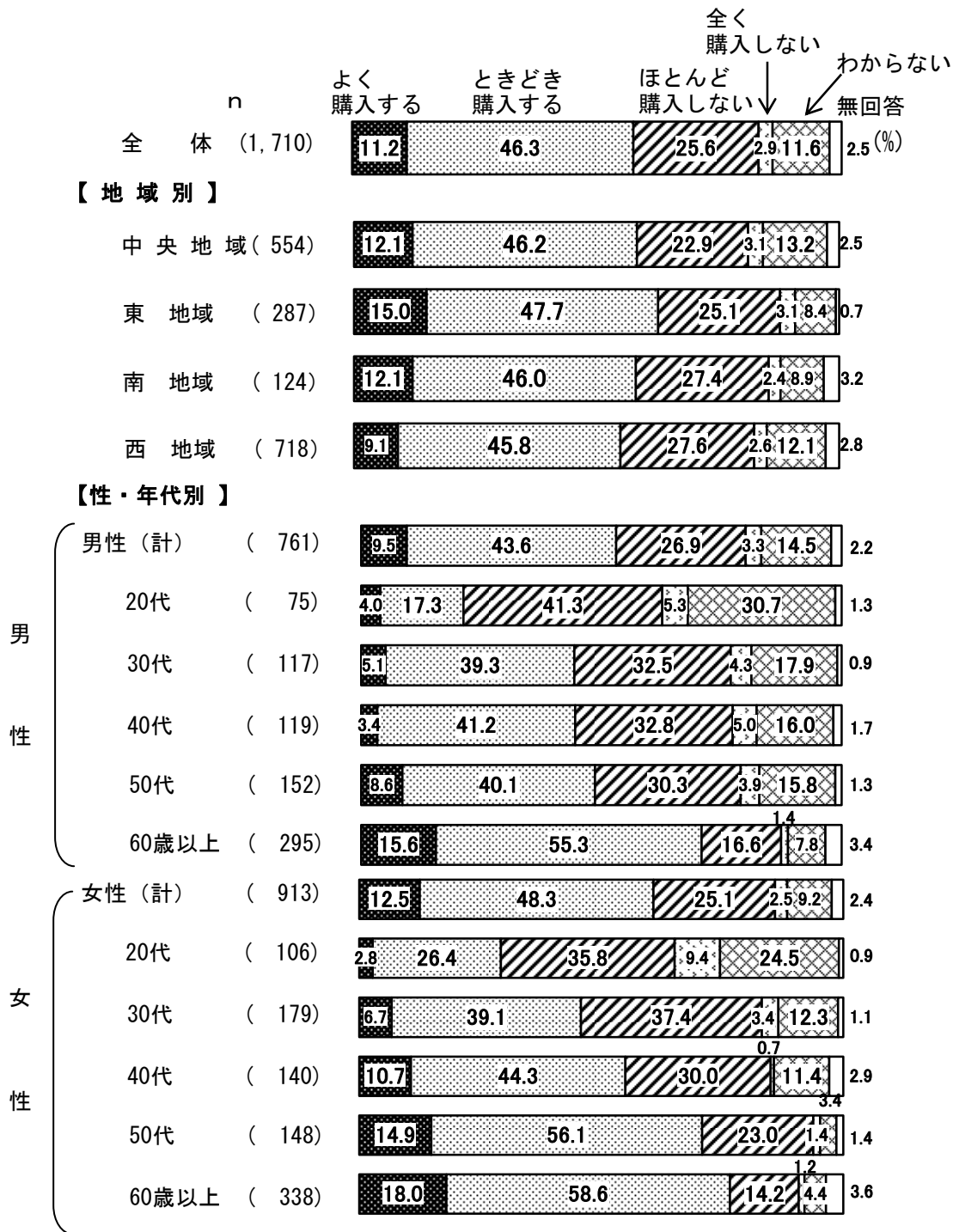
【地域別】

『購入する』は、“東地域”(62.7%)で唯一6割を超えている。(図表7-4)

【性・年代別】

『購入する』の割合は、年代があがるにつれて上昇し、特に男性60歳以上(70.9%)で7割、女性60歳以上(76.6%)で7割台半ばとなっており他の年代に比べて最も高くなっている。(図表7-4)

<図表7-4>有機農業の農産物購入頻度/地域別、性・年代別



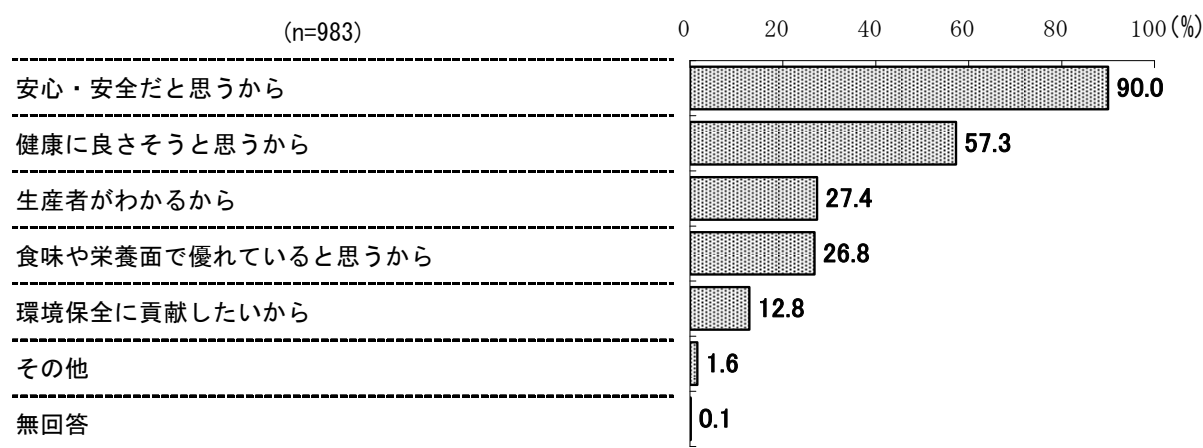
(2-1) 有機農業の農産物購入理由

◇「安心・安全だと思うから」が9割。

(問27で「1」・「2」と答えた方に)

問28 あなたが、有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

<図表7-5>有機農業の農産物購入理由



「よく購入する」、「ときどき購入する」と回答した983人を対象に、有機農業の農産物を購入する理由を聞いたところ、「安心・安全だと思うから」(90.0%)が9割で最も高い。ついで、「健康に良さそうと思うから」(57.3%)が約6割と続く。(図7-5)

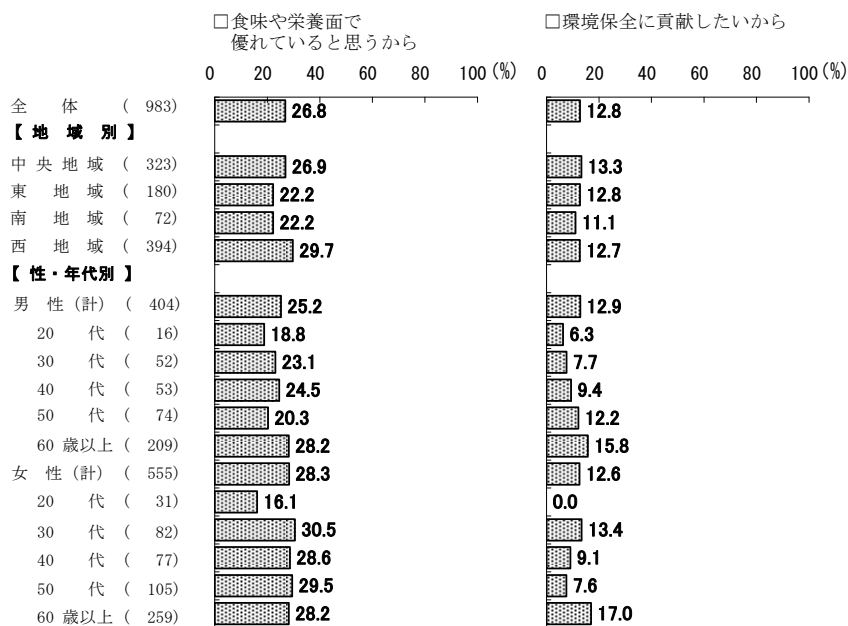
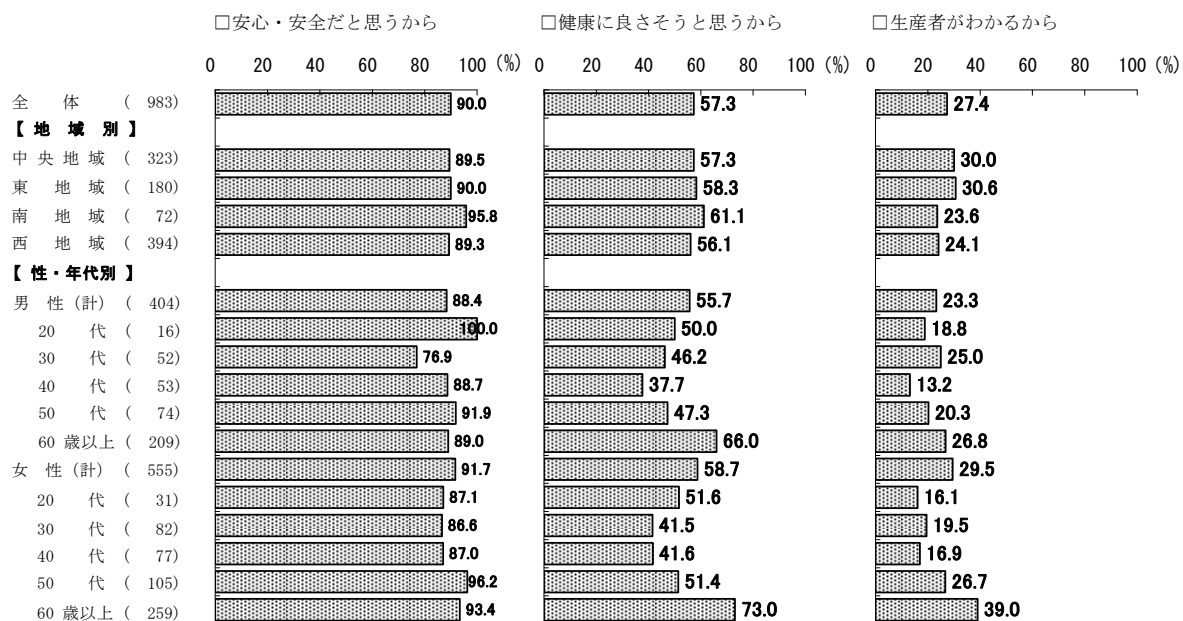
【地域別】

「安心・安全だと思うから」は、「南地域」(95.8%)が9割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「健康に良さそうだと思うから」は、「南地域」(61.1%)で唯一6割を超えている。(図表7-6)

【性・年代別】

「安心・安全だと思うから」は、女性の50代(96.2%)、女性60歳以上(93.4%)で高くなっている。「健康に良さそうと思うから」は、男性の60歳以上(66.0%)で6割台半ば、女性の60歳以上(73.0%)で7割台半ばとなっており、他の年代と比べて高くなっている。「生産者が分かるから」は、女性の60歳以上(39.0%)で約4割となっており、他の年代と比較して高くなっている。(図表7-6)

<図表7-6>有機農業の農産物購入理由／地域別、性・年代別

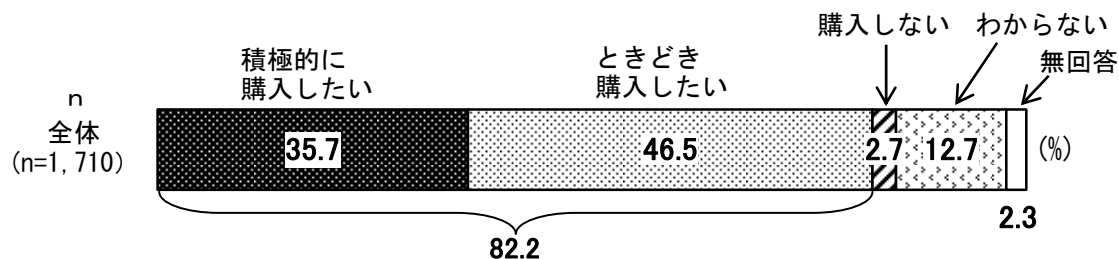


(3) 有機農業の農産物購入意向

◇『購入したい』が8割を超える。

問29 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。
(○は1つ)

<図表7-7>有機農業の農産物購入意向



有機農業の農産物購入意向を聞いたところ「積極的に購入したい」(35.7%)、「ときどき購入したい」(46.5%)を合わせた『購入したい』(82.2%)は、8割を超える。一方、「購入しない」(2.7%)は、ごくわずかである。また、「わからない」(12.7%)は1割を超える。(図表7-7)

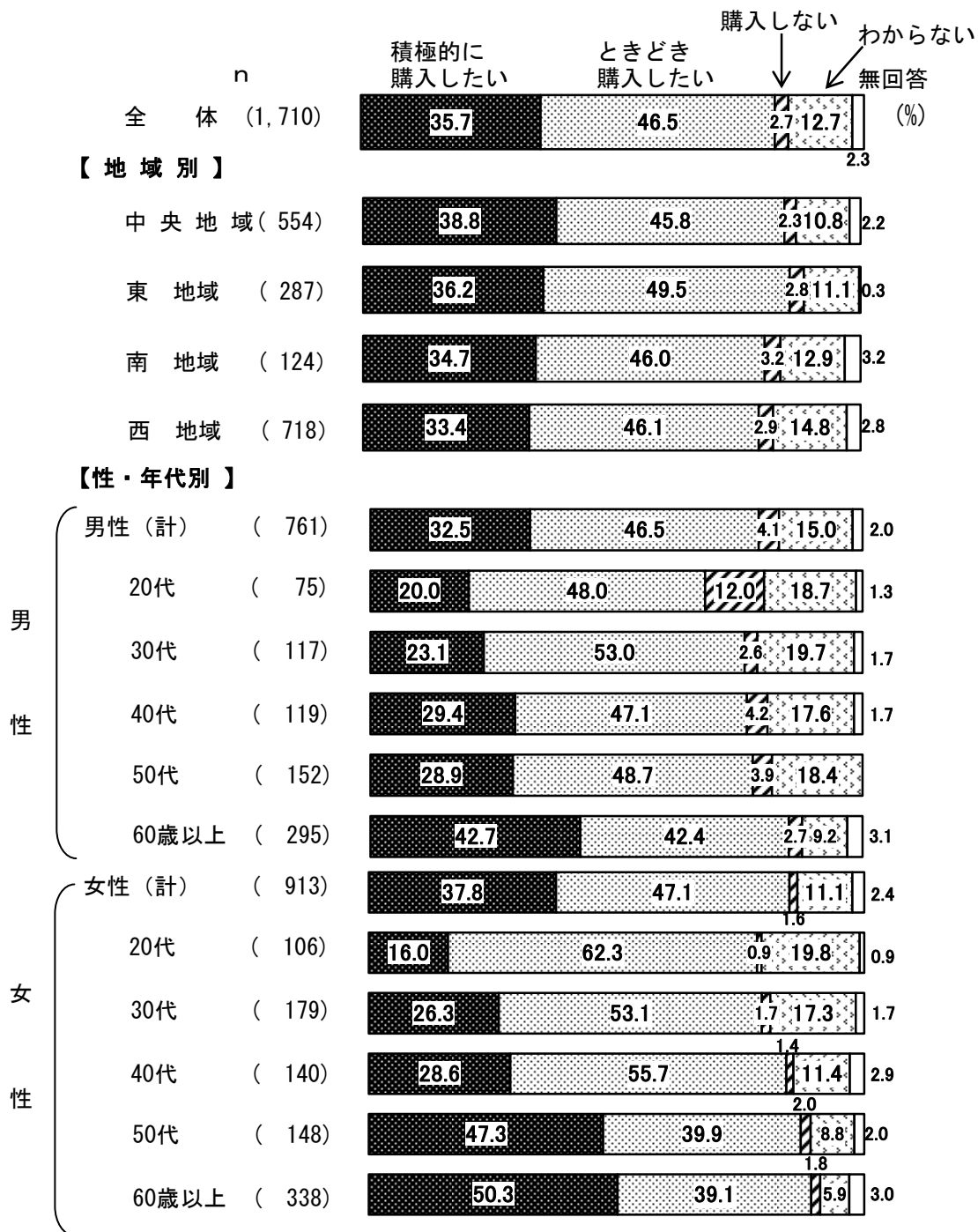
【地域別】

『購入したい』は、“東地域”(85.7%)で8割台半ばで最も高く、“西地域”(79.5%)が約8割と最も低い。(図表7-8)

【性・年代別】

『購入したい』の割合は、年代があがるにつれて上昇する傾向にあり、男性の60歳以上(85.1%)で8割台半ば、女性の60歳以上(89.4%)で約9割と他の年代に比べて高くなっている。(図表7-8)

<図表7-8>有機農業の農産物購入意向/地域別、性・年代別

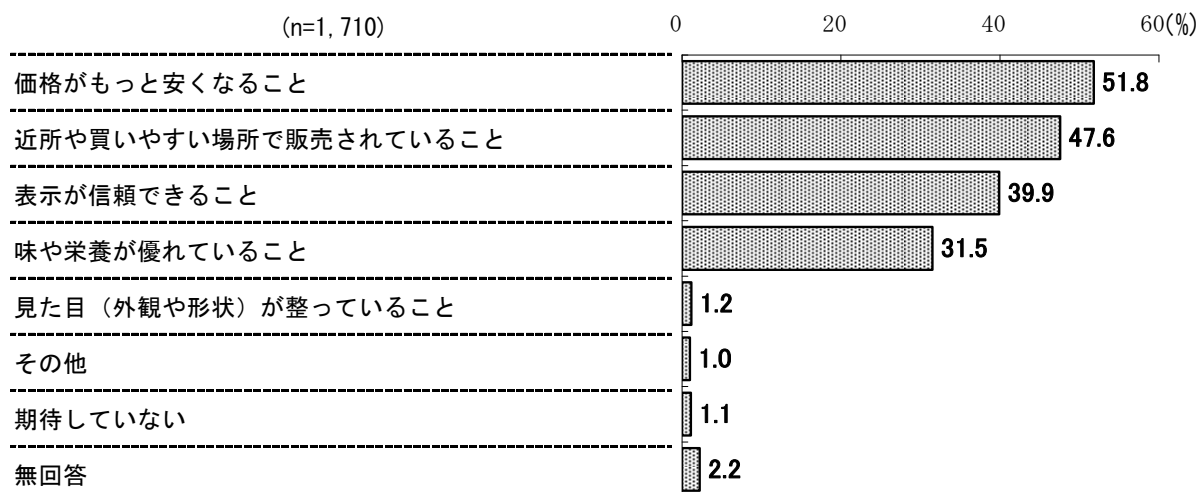


(4) 有機農業の農産物に期待すること

◇「価格がもっと安くなること」が5割を超える。

問30 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について、主に何を期待しますか。
(○は2つまで)

＜図表7-9＞有機農業の農産物に期待すること



有機農業の農産物に期待することを聞いたところ、最も高かったのが「価格が最も安くなること」(51.8%)で5割を超える。ついで、「近所や買いやすい場所で販売されていること」(47.6%)が約5割、「表示が信頼できること」(39.9%)が約4割と続く。(図表7-9)

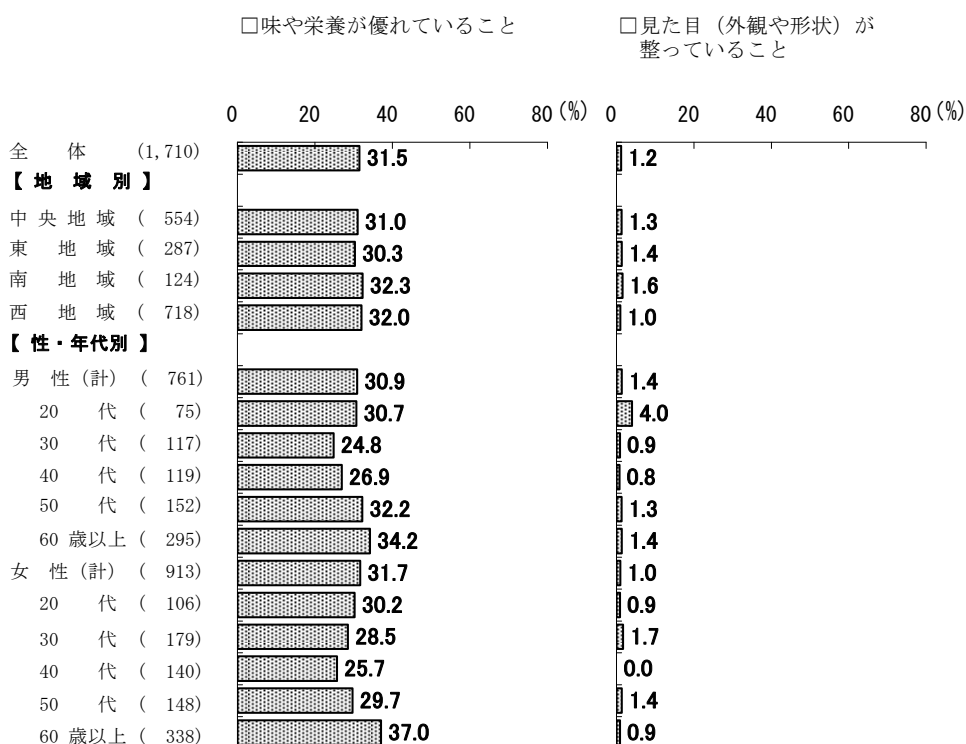
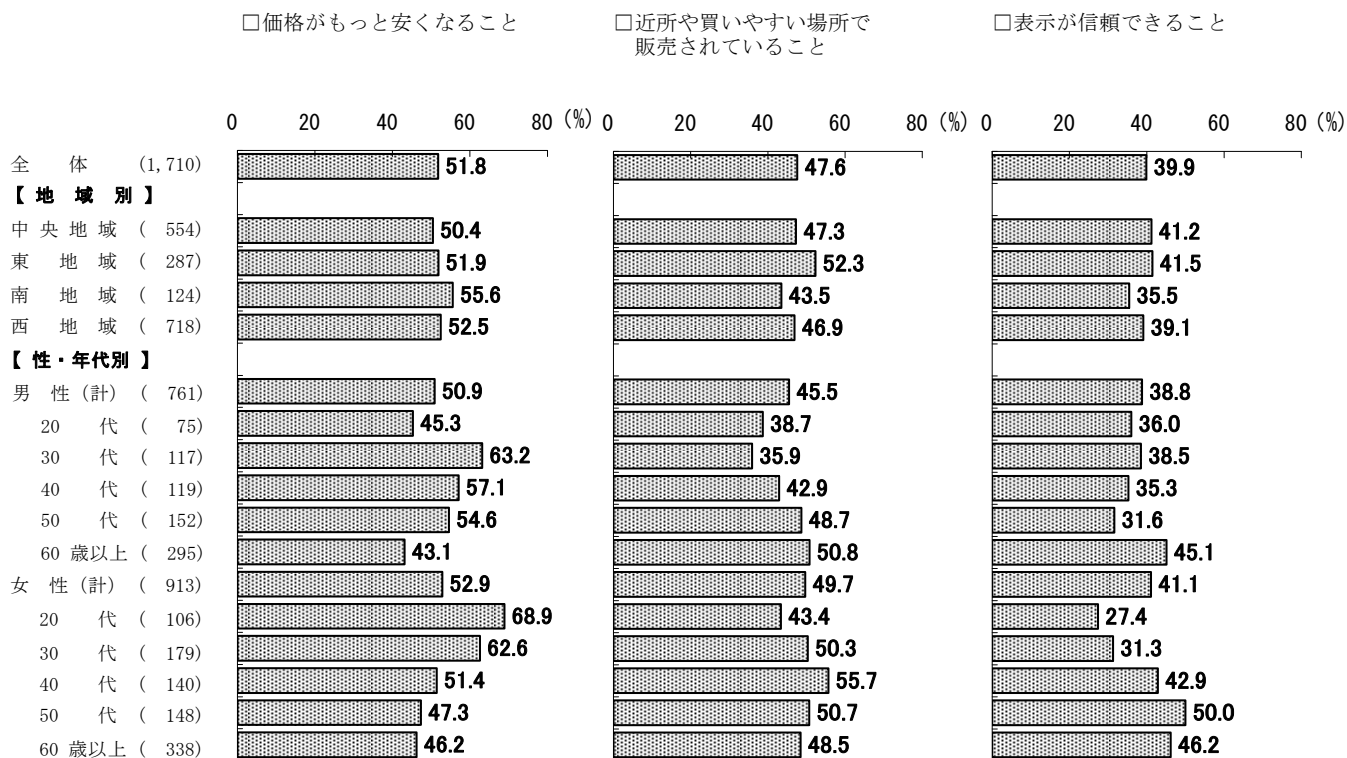
【地域別】

「価格がもっと安くなること」は“南地域”(55.6%)で5割台半ばと他の地域に比べて高い。「近所や買いやすい場所で販売されていること」は、“東地域”(52.3%)で5割を超える。(図表7-10)

【性・年代別】

「価格がもっと安くなること」は、男性の30代(63.2%)で6割台半ば、女性の20代(68.9%)で約7割と他の年代に比べて高くなっている。「近所や買いやすい場所で販売されていること」は、女性の40代(55.7%)で5割台半ばであり他の年代に比べて高くなっている。「表示が信頼できること」は、男性の60歳以上(45.1%)で4割台半ば、女性の50代(50.0%)で5割となっており、他の年代に比べて高くなっている。(図表7-10)

<図表7-10>有機農業の農産物に期待すること／地域別、性・年代別



問 「有機農業について」やここまでの質問（問26～問30）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、151人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

■「有機農業について」の自由回答（抜粋）

- 有機農業とはどういうものなのか、どうやって作っているのかをもっと消費者に知らせた方がいいと思う。作る側と買う側の意識の違いがあるように感じる。（男性・30代・東地域）
- 近くで購入する所があれば必ず買いたいと思うが、買える場所が少なすぎる。たまに見かけても価格が高くて買うのにためらう。（女性・30代・東地域）
- 食に対する安心感、より安全な食物を購入したいと考えている人は多いはず。海外からの輸入品よりも国内産に目を向けている消費者が増えているので、売場の拡大や購入方法をもっと考えて欲しい。（女性・40代・西地域）
- 有機農業は大変手間で、生産量も少ないと思いますが、それでも体の中に入るものに薬はちょっと…と下さる生産者の方々の意気込みをととても感じ、毎日ありがたきいただきしております。ほんの少しの相手への思いやりで、生産者と消費者がより近付ける良い機会になると思いますので、今後も是非この千葉で有機農業を広くPRし、広めていただければと願っております。（女性・40代・東地域）
- 化学肥料や農薬は農業経営のために必要不可欠である。有機農業は小規模な限られた地域で多くの人手をかけてでしかできないし、安全だとはいえない（有毒な害虫などを防げない）。安定的な食料供給が必要である。（男性・50代・中央地域）
- 有機農業は良いと分かっているけど、とても大変な事だそうです。県の支援をもっと増やしてあげて、農家の負担を少しでも減らしてあげないと生産者の人数は増えていきませんか。（女性・50代・南地域）
- 実家で野菜を作っているのによくもらって食べますが、キャベツの葉の中に青虫がいたりします。農薬を使わない証拠ですけど、ちょっとこわいです。でも体には良いので、しっかり洗っていただきます。（女性・30代・中央地域）
- 安全な食料品であれば、多少高くてもやむを得ないと思いますが、最近いろいろな面で偽装が多いのが心配です。（男性・60歳以上・西地域）
- 有機農業が安心・安全であると言うことは現時点では言えない。無農薬が安全であるとも言えない（中国産野菜による寄生虫感染の増加があった）。信頼できる規格（生産方法と生産物自体）の確立が必須。（男性・50代・西地域）
- 物価高のおり、安いものを消費者は求めています。味、栄養が優れていても高くても手が出ませんし、1回購入しても買い続けることはできません。（女性・50代・西地域）